

■審査総評

みなさん、審査では全力を尽くしていただき誠にありがとうございました。

キッズは、大半が白帯で初めての審査であったため、一同緊張の表情でした。基本もおおむね形が整ってきており、審査型の太極Ⅰ・Ⅱも大きな間違いもなく、やりぬくことが出来ました。組手は、オレンジ帯の先輩への掛かり組手を行ないましたが、皆一様に自分から攻撃を仕掛け、積極的に挑んでくれました。またオレンジ帯のキッズは非常に技が正確に整っており、身体の柔軟性を活かして、突きや蹴りがとても伸びやかになってきました。

ジュニアは、白帯から黄帯まで比較的幅広い層から受審がありました。白帯もよく稽古ができており、突き蹴りが整っているのに加えて、移動や型のなかでも自在に使用しているように見受けました。オレンジはまだ、技の形が十分に整っていない受審者も見受けましたが、今後、新しい帯を巻いて、その帯に相応しい技量を習得していきましょう。青帯は全体的に正確に技ができてきました。組手や型などの応用審査においては、実戦を想定した意識の上達を期待します。黄帯は、体躯もあり、組手は非常に強いのですが、まだまだ基本や移動に粗さが見受けられました。黒帯を目指す上では、今後の修正が大切になりますので、一層がんばっていきましょう。

ゼネラルは、非常に集中力をもって審査に挑んでいただきました。白とオレンジが大半でしたが、基本や移動といったベースがかなり正確にできています。今後はスタミナ面や体力面を補強していき、さらなる上達を目指していきましょう。青・黄帯以上は、中級レベルに差し掛かっています。正確な技の習得、運足の重心移動にムダがないか、など求められるものに徐々に難易度が上がってきますが、そうした点に一定の上達を感じさせてくれました。身体の柔軟性は、あきらめることなくコツコツと継続すれば、必ず少しずつ少しずつ向上しますので、日々の仕事の合間や家庭での空き時間を活用して実行してください。茶帯は連続組手がクローズアップされますが、基本や移動、型における正確性や身体操作、そして全身の連係が重要になってきます。これに加えて、体力やスタミナ、そして柔軟性とスピードなどが受審者の年齢に応じたレベルで求められます。こうした昇級に必要な要件を十分に満たしており、今後の黒帯挑戦が遠くないものになってきました。茶帯になれば、自身の空手の技量上達もさることながら、後輩や周囲への目配りや気配りといった、支部内の全方位に対応できる武道家への進化が期待されます。今のまま、順調に稽古を積み重ねていって下さい。

最後になりましたが、受審者のみなさんの一生懸命な態度、真剣なまなざし。そして、流された汗に心から敬意を表します。ビジネスマンのみなさんは、企業人、社会人としてあ

るいは家庭人として、重い責任を果たしながら、空手に取り組んでいただき心から感謝します。

すばらしいみなさんと、空手を通じて、道場という異空間での心の交流ができますことを心からうれしく思います。

少年部の皆さんは、元気に大きな気合で審査に挑んでくれました。この昇級審査に挑戦させて下さった両親への感謝を忘れず、またその感謝を表現することを忘れず、一層稽古にまい進して下さい。

平成 23 年 12 月 8 日

東京ベイ港支部 支部長 小井泰三